

会 議 録 (概要)

会議の名称	令和４年度第２回ベストミックス構築部会
開催日時	令和４年１０月２５日（火） 午後１５時３０分開会 午後１７時００分閉会
場所	Web 開催（新穂行政サービスセンター　２階　第３会議室）
議題	（１）佐渡市の電源に関する現状・特性について （２）新潟県自然エネルギーの島構想の内容について （３）佐渡市での取組に関するご提案内容について （４）今後の検討事項に関する意見交換
会議の公開・非公開	公開
出席者	佐渡ガス㈱ 静岡ガス㈱ 佐渡市地域循環社会推進協議会 ㈱アドバンテック 渡辺産商㈱ 佐渡連合商工会 ㈱第四北越銀行 東北電力ネットワーク㈱ 新潟県産業労働部創業・イノベーション推進課 ＜事務局＞ ・佐渡市　総合政策課　地域エネルギー係　係長　渡部達也 総合政策課　地域エネルギー係　主事　北見航希 ・大日本コンサルタント㈱
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	０人
備考	

会議の概要（主な発言等）

1 開会

2 議題 1) 佐渡市の電源に関する現状・特性について

- ・東北電力ネットワーク㈱により市内の電源状況等について説明。

議題 2) 新潟県自然エネルギーの島構想の内容について

- ・新潟県 産業労働部 創業・イノベーション推進課より島構想の概要について説明。

議題 3) 佐渡市での取組に関するご提案内容について

- ・㈱アドバンテックよりバイオマス発電の事例等の説明。

議題 4) 今後の検討事項に関する意見交換

- ・調整力となるエネルギー源が必要なことは非常に理解できた。佐渡で火力・ディーゼル発電している部分を考えると、将来的にどの程度まで太陽光による電力を系統に流しても良いのかが課題となる。
- ・畑野で計画されている出力 1,500kW の太陽光発電設備は、一般家庭の電力需要 500 世帯分程度である。太陽光設備に通信装置を入れてリアルタイムでデータをとることで、火力発電設備からの電力供給とバランスをとっている。また、5MWh 程度の蓄電池も両津火力発電所構内に設置予定である。
- ・火力発電について、両津 4 号機は廃止予定であるが、廃止しても他で十分供給力が賄える。それ以外のエンジンについては今後の動向と部品供給やメーカーの技術員の維持ができれば、できる限り続けていく予定。安定供給をするうえで、トルクのある発電設備が非常に重要であることを考慮しなくてはならない。
- ・オフサイト PPA はスケールが小さくないと、採算が合わないと感じる。これからは住宅の老朽化などで家の維持も大変になるため、自家消費用のパネルの設置は簡単ではない。そういった意味でオフサイト PPA の需要は高いと考える。
- ・島構想におけるバイオマスの再エネ導入目標はバックキャストで設定とあるが、佐渡の現状として木材はあるが木を切る人がいない。これが 1 番の課題であり考慮しなければならない。
- ・バイオマスの数値は機械的に設定したものなので参考レベルの数値となっている。期待を込めて設定した数値を目標としている。地域振興という意味合いでは、バイオマスは有効だということは理解している。県として必ず推し進めたいというものではないが、地元の意向も踏まえながら導入すべきである。
- ・次回部会から、ターゲット年、様々な施策分野についてアイデアを出してもらい、具体的内容を検討していきたい。